

職員による自己評価

A 環境面

教室には CO²濃度測定器や空間除菌脱臭機が設置され、机や椅子、クッション、デスクガードや教材も使い終わるとそのつど除菌し清潔に保っている。

B 児童への支援内容

月 1 回のケース会議で対象児童の情報を共有し支援プログラムの作成に活かしている。

そのほか毎日のミーティングで各児童の情報を共有し、その日の療育内容について話し合い、各自の特性とレベルに応じた指導をし自己肯定感を育てている。

C 関係機関との連携

オンライン部会があるが出席できる会議には積極的に参加し、情報収集をしている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

保護者が送迎されるのが基本なので、そのときにその日の療育内容を保護者にきめ細かく報告している。必要に応じて、適切な助言や支援をしている。

E 非常対応

入所時にアレルギーや持病について確認している。
毎年、春と秋に避難訓練を実施している。

保護者による評価

A 環境面

CO²濃度測定器や空間除菌脱臭機が設置され、学習机にはデスクガードが設置され感染症対策がなされている。療育スペースの清潔も適切に保たれている。

B 児童への支援内容

児童ひとりひとりの特性やレベルに合わせ、保護者との連絡を密に取りながら、きめ細かく療育指導してもらっている。

指導員も手厚く配置されている。

C 事業所からの情報発信

毎月発信される「あさがお通信」やホームページ等から情報を得ている。

D 非常対応

ヘルメットや災害用補助備蓄品の用意があり、避難訓練も定期的に行っていると説明を受けている。目の前の小学校が指定避難場所のため、避難しやすく安心して

事業所内での分析

【共通点】

通所者のほとんどがマスクをしていないが、教室を常に除菌し清潔に保ち、スタッフがマスク着用を徹底しているのでインフルエンザ等の感染症の拡大を防げている。

療育内容については、保護者からは概ねご満足いただけている。

【相違点】

働いている保護者からは、送迎サービスがあるとありがたい、と言われている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

通所者の取組む課題が各自のレベルに合わせて設定されている。毎日、その日の指導員全員でミーティングをし、その日の児童の特性やレベルに応じて課題に取り組めるよう適切な支援をしている。その日の状況を考慮しながら児童に合わせて、自己肯定感が高まるようきめ細かく支援している。送迎の際、保護者にその日の療育状況を報告し、情報を共有して子どもの療育に活かしている。

事業所の改善点

情報発信について、分かりやすく伝えて行けるよう今まで以上に改善したい。

事業所の改善への取り組み

情報を発信したら、そのつど口頭で確実に伝わるように工夫していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

療育内容や日々の保護者対応については、信頼とご満足をいただけている。小学生で通所を始めて高校を卒業するまで在籍する利用者さんが多数見受けられる。